採用ご担当者様へのご案内

オンラインでワークショップを

「県内企業でも、オンラインを使った２～３時間のインターンシップがあれば、気軽に参加でき、企業を知り、働き方を知る機会になる」という学生の声をヒントに、業界（企業）研究のモデルケースとなる**「オンライン1/8DAYワークショップ～青森で就活～」**を制作しました。人財確保の一環としてぜひ活用してみませんか？

■モデルケース

≪詳細：https://chiiki.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2023/06/online_workshop.pdf ≫

会社案内送付
事前会社研究

当日

会社説明
事例紹介
２０分

→ 仕事の
シミュレーション
【職場体験】
１３０分

→ フィードバック
と質疑応答
３０分

企画当初から㈱東北博報堂青森支社様のご支援をいただき、弘前大学生と共に青森県内の企業が３時間の中で効果的な業界（企業）研究を行うとした場合の「モデルケース」を制作し、その上で、実際に業界（企業）研究を試行していただきました。

日夜、人財の確保にご尽力されている県内企業の皆様に、この「産学協働作品」をご活用いただければ幸いです。

お問い合わせ先

全 般：弘前大学 社会連携課 地域交流グループ　0172-39-3413
モデルケース：株式会社東北博報堂 青森支社　017-776-4351

モデルケース

■ 経緯

年月日	イベント	内　容
R4.7.15	初回打合せ	・弘前大学と㈱東北博報堂 (青森支社)が事業について打合せ
R4. 9.29	事前検討会 @弘前大学図書館	・OneDay業界研究(仮)実施に向け、㈱東北博報堂と弘前大学学生が、当日の流れ、事業の名称等について検討
R4.11.29	OneDay業界研究(仮) オンライン180分	・会社説明・事例紹介 ・仕事のシミュレーション【職場体験】アカウントプロデュース職(営業職)的体験 得意先社長へ　①青森県のお土産、②商品開発、の提案 ・フィードバック(現場体験での行動等を中心に)
R4.12.22	事業報告会 @弘前大学50周年 記念会館	・学生にとって企業の業界研究に参加する意義、今回の業界研究を通しての自身の振返り ・企業が業界研究を実施すること及び自社のプログラムを制作することの意義 ・プログラム(モデルケース)の活用及び自社のプログラム制作に向けてのアドバイス　等

■「モデルケースの活用」「自社プログラム制作」に向けて＜事業報告会より＞

項　目	内　容
0 1 業界(企業)研究の意義とは ・学生の視点 ・企業の視点	・実際に体験できると、自分にその業界の内容が伝わりやすい。 ・社員の話し方や社員同士の関わり方から、組織の普段の雰囲気が伝ってくる。 ・様々な業界を見ることを通して、自分の適性を知ることができる。 ・就活は自己分析と業界研究の同時進行。業界研究において、何を扱っているのか、顧客が誰なのか、どのように利益を上げているのか、また社員の働き方、やりがい、社内外との繋がりや、企業の未来志向を知った上で、自分の適性とマッチしているか判断していく。 ・実施する企業側としても、自分の仕事の意義、会社に入って、どういう気持ちで働いているのかを振り返る機会となる。学生の反応も直接見ることができ、参加する社員のモチベーションにも繋がる。
0 2 モデルケースの活用について	・企業が学生と向き合うには、双方の考え方にギャップがあるということを理解する必要がある。180分という時間に学生が希望している業界・企業と会社の人を、どこまで伝えられるかを練り込んでプログラムを作らないと、学生と向き合うことは難しい。 ・企業側の見せ方に工夫も要ると思う。会社の写真が載っていない、事業の説明もほとんどないでは、学生は外(県外・他の企業)に行ってしまう。確かに、目の前の業務で一杯いっぱい。人はほしいけれど、時間をかけられないという現状にあると思うので、是非、このプログラム(モデルケース)を参考にしてほしい。
0 3 自社のプログラム制作に向けて	・プログラムの中身が肝心だが、学生の目を引くネーミング…略しやすさ、田舎臭さを感じないもの…にも工夫がほしい。 ・ 業界研究を通して、自分の強みをイメージできるようにしたいので、フィードバックが非常に大事。フィードバックの時間を長くとって、社員からだけでなく、学生同士の意見交流の時間があるとよい。 ・フィードバックで社員から意見をもらえると、学びになるし、自分の向き・不向き等の発見になる。 ・ディスカッションがメインの方が学生にとっては役に立つ。 ・学生に何を伝えたいのか、何を知ってほしいのか、学生が何をゴールにすべきなのを明確にすると、その企業に興味が持てるようになる。 ・ホームページだけでは伝えることができない企業の特徴や魅力、逆に課題となっているところまでオープンに紹介してはじめて、学生側にとって業界研究として成り立つ。 ・その業界・企業の良いところも、そうでないところも本音で言ってほしい。
0 4 企業の情報発信について	・就活サイトでは、簡単な企業説明だけでなく、仕事の内容がイメージできるくらいの詳しい情報や、１年目の働き方など、そのページを見れば企業の状況がわかるという程度の情報が載っていると、興味が持てる。 ・どれだけ学生の目にとまるか、検索のわかりやすさにもかかってくる。